

**製品名: RBPJK ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87638**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:56 kDa; Observed MW:61 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RBPJK
別名	SUH; csl; AOS3; CBF1; KBF2; RBP-J; RBPJK; IGKJRB; RBPSUH; IGKJRB1
遺伝子 ID	3516
SwissProt ID	Q06330
免疫原	ヒト RBPJK の合成ペプチド

**背景**

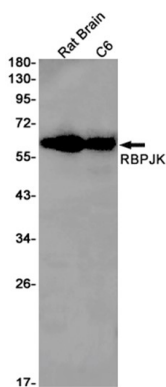
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ノッチシグナル伝達経路において重要な転写調節因子です。コードされるタンパク

質は、ノッチタンパク質に結合していない場合はリプレッサーとして、ノッチタンパク質に結合している場合はアクティベーターとして機能します。ヒストン脱アセチル化酵素またはヒストンアセチル化酵素タンパク質を含むクロマチンリモデリング複合体をノッチシグナル伝達経路遺伝子にリクルートすることで機能すると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかり、9番染色体上に複数の偽遺伝子が存在します。[RefSeq 提供、2013年10月]

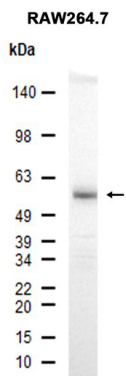
## 研究分野

-

## 画像データ



RBPJK 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳 C6 細胞溶解物中の RBPJK のウェスタンブロット検出。



AMRe87638 を 1:3000 で使用して RAW264.7 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。